

WAKAYAMA MEDICAL UNIVERSITY



2025

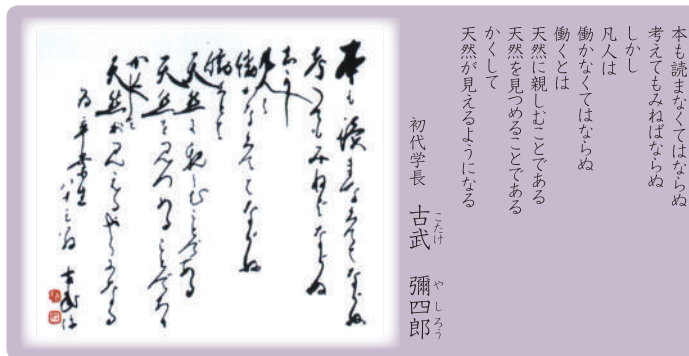
和歌山県立医科大学
—— 医学部 ——
GUIDE BOOK



校章

マークの意匠は、和歌山が生んだ医聖・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「まんだらげ（チョウセンアサガオ）」の花に「医」の文字をデザインしたものです。

「まんだらげ」の花の絵は陶芸家富本憲吉氏の作で、もとは昭和38年に開催された医学総会のために描かれたものでした。その後「医」の文字を付加して、和歌山県立医科大学のマークとして永年親しまれてきた歴史を経て、昭和62年に正式に校章として認定されました。



初代学長 古武 彌四郎

本も読まなくてはならぬ
考えてもみねばならぬ
しかし
凡人は
働かなくてはならぬ
働くと
天然に親しむことである
天然を見つめることである
かくして
天然が見えるようになる



初代学長 古武彌四郎先生之像

医学部の使命

本学の教育理念

和歌山県立医科大学は、医学、保健看護学及び薬学に関する基礎的、総合的な知識と高度で専門的な学術を教授研究するとともに、豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い人材を育成することにより、和歌山県の医療・保健の充実を図り、もって文化の進展と人類の健康福祉の向上に寄与する。

医学部の教育目標

医学部教育においては、幅広い教養、豊かな思考力と創造性を涵養し、豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い人材、高度で専門的かつ総合的な医学的能力を身につけた人材、コミュニケーション能力及びリーダーシップを備えた協調性の高い人材、地域医療及び健康福祉の向上に寄与するとともに、国際的にも活躍できる人材を育成することを目標とする。

沿革

- 昭和20年 2月 ●和歌山県立医学専門学校設置認可(4年制、美園)
- 昭和22年 6月 ●和歌山県立医科大学予科設置認可(3年制)
- 昭和23年 2月 ●和歌山県立医科大学設置認可(旧医科大学4年制)
- 昭和25年 3月 ●和歌山県立理科短期大学併設認可(2年制)
- 昭和26年 3月 ●和歌山県立医学専門学校及び予科閉校
- 昭和27年 2月 ●学制改革による和歌山県立医科大学設置認可
- 昭和30年 1月 ●和歌山県立医科大学進学課程設置認可
- 昭和30年 3月 ●和歌山県立理科短期大学閉校
- 昭和30年 4月 ●和歌山県立医科大学開校(新制6年制、40名)
- 昭和33年 7月 ●学位規程の制定認可(学位審査権)
- 昭和35年 3月 ●和歌山県立医科大学大学院設置認可
- 昭和36年 3月 ●旧制和歌山県立医科大学廃止
- 昭和38年 4月 ●大学本部及び基礎医学部門移転認可(九番丁)
- 昭和39年 1月 ●学生定員60名へ変更承認
- 昭和40年 4月 ●進学課程移転(紀伊)
- 平成 7年12月 ●看護短期大学部併設(3年制)

- 平成11年 5月 ●和歌山県立医科大学統合移転完成(紀三井寺)
- 平成11年 9月 ●生涯研修・地域医療センター開所
- 平成12年 6月 ●救命救急センター設置
- 平成15年 1月 ●ドクターヘリ導入
- 平成16年 4月 ●保健看護学部開設
- 平成17年 4月 ●大学院医学研究科修士課程開設・博士課程再編
- 平成18年 4月 ●公立大学法人和歌山県立医科大学に組織改編
- 平成18年 8月 ●文部科学省の「特色GP」、「現代GP」に同時選定
- 平成19年 8月 ●文部科学省の「学生支援GP」に選定
- 平成19年10月 ●医学部定員85名届出受理
- 平成20年 4月 ●大学院保健看護学研究科及び助産学専攻科開設
- 平成20年10月 ●医学部定員95名届出受理
- 平成21年11月 ●医学部定員100名届出受理
- 平成25年 4月 ●大学院保健看護学研究科博士後期課程開設
- 令和 3年 4月 ●薬学部開設
- 令和 6年 4月 ●大学院医学薬学総合研究科開設

- 1 ページ ————— 医学部の使命・沿革
- 2 ページ ————— 医学部の3つのポリシー
- 3 ページ ————— 学長・医学部長あいさつ
- 4 ページ ————— 医学部の特徴
- 5 ページ ————— カリキュラム概要
- 6 ページ ————— 入試概要
- 7 ページ ————— 県民医療枠について
- 8 ページ ————— 地域医療枠について

- 9・10 ページ ————— 和医大生のキャンパスライフ
- 11 ページ ————— 研修医からのメッセージ
- 12 ページ ————— 課外活動
- 13・14 ページ ————— 国際交流
- 15 ページ ————— 年間スケジュール
- 16 ページ ————— 入学金・授業料・奨学金など
- 17・18 ページ ————— キャンパスマップ



医学部の3つのポリシー

■ アドミッションポリシー（入学者受入方針）

【求める人物像】

和歌山県立医科大学医学部では大学の理念に基づき次のような人を求めています。

1. 科学的探求心と豊かな人間性・高邁な倫理観を有する人
医学を志す人には、旺盛な科学的探求心とともに豊かな人間性、高い倫理観が必要です。人としての豊かな感性、人間性を有し、ボランティア活動などを通じて社会との深い係わりがあるとともに、高い倫理観を有する人を求めます。
2. 医学を修得するための幅広い能力を有する人
医学の修得には、自然科学のほか人文・社会科学に関する学問の修得が必要です。自然及び人間・社会についての幅広い知識と向学心、自分自身で問題を解決できる能力を持った人を求めます。
3. コミュニケーション能力及びリーダーシップを備えた協調性の高い人
医師には医学的知識とともに患者および家族、職場の同僚と十分コミュニケーションできる能力（情報の共有と良好な患者－医師関係が築ける能力）が必要です。医療人として自己研鑽ができ、自己の理念を持っているとともに協調性に優れ、リーダーシップを発揮できる人を求めます。
4. 地域医療に関心があり、国際的視野を有する人
本学は県民の医療を支えるとともに、国際的にも活躍できる医師を育成します。
地域医療に関心があるとともに、国際社会でも活躍できるための能力を高め、積極的に地域社会および国際社会に貢献できる人を求めます。

【入学者選抜の基本方針】

1. 学校推薦型選抜
学業のみならず、課外活動等において特に優れた成績あるいは実績を有する者で、医学・医療に貢献したいという強い意欲があり、人格的に特に優れた学生を求めています。
大学入学共通テスト、高等学校長の推薦書、調査書、自己推薦書及び面接試験を課し、本学医学部のディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーを踏まえ、入学者に求める能力・適正を「学力の3要素」と関連付け、多面的・総合的な評価による選抜を実施します。
2. 一般選抜（前期日程）
高い学力を有する者で、医学・医療に貢献したいという強い意欲があり、人格的に特に優れた学生を求めています。
大学入学共通テスト、個別学力検査及び面接試験を課し、本学医学部のディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーを踏まえ、入学者に求める能力・適正やその評価方法を「学力の3要素」と関連付け、多面的・総合的な評価による選抜を実施します。

■ カリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）

1. 教育課程編成
ディプロマ・ポリシーに掲げる知識と能力を修得するために、教養、基礎医学、臨床医学に関する体系的で組織的な教育を提供します。知識に偏重した旧来型の教育ではなく、学修成果基盤型教育を行います。
2. 教育内容・方法
 - 1) 1年次は教養教育が中心となります。医学への準備教育や自然科学、人文・社会科学および外国語に関する知識、医師としての倫理を学びます。また、入学後早い時期に医療の現場を体験する早期臨床体験実習や、3学部合同で患者の生の声を聞き、学生同士で意見交換し、その内容を発表するケアマインド教育などで、能動的学習やコミュニケーション能力の獲得を目指します。
 - 2) 1年次後半から臨床の基礎となる基礎医学の領域を中心として学びます。肉眼解剖から遺伝子レベルに至る人体の構造と機能を学び、さらに病気の病態、病因、薬物の作用、および社会と疾病の関わりについても学びます。
 - 3) 3年次に行う基礎配属では、自分の興味のあるテーマを選び、基礎医学講座（社会医学系講座を含む）・先端医学研究所研究部・共同利用施設・人体病理学講座の研究室で実際の研究に触れます。大学院準備課程（M.D.-Ph.D コース）で自身の研究を継続することもできます。
 - 4) 3年次後半から4年次終了まで学ぶ臨床医学では基礎医学・社会医学との連携を図り、臓器別に疾患の概念、診察、検査、診断、治療の基本を系統的講義で学びます。少人数グループにわかれ、症例シナリオを用いる問題基盤型学習も含まれます。
 - 5) 共用試験に合格した学生は臨床実習生（医学）として5年次から臨床実習を行います。臨床実習では、すべての科を網羅的に実習するとともに長期間の診察参加型実習を学内外で行い、臨床推論能力を含めた実践的な臨床能力の獲得を目指します。
 - 6) 地域実習および国際交流を積極的に行い、広い視野を養い、地域社会および国際社会で活躍できる資質を習得する教育を行います。
3. 学修成果の評価方法
シラバスに記載された学修目標について、授業中の小テストや発表、レポート、筆記試験、実技試験などの多面的な評価方法により、それぞれの到達状況を客観的に評価します。4年次、6年次に行われる医療系大学間共用試験実施評価機構によるCBT（Computer Based Testing）、Pre-CC OSCE（Clinical Clerkship Objective Structured Clinical Examination）、Post-CC OSCEなどの試験も評価に含めます。

■ ディプロマポリシー（学位授与方針）

和歌山県立医科大学医学部は次の能力を獲得した者に学士（医学）の学位を授与します。

1. 命を扱う職業である医師として、より高い倫理観、社会人としての良識を備えているもの
2. 総合的、専門的医学知識とともに医学研究や臨床研修を行うに足る技能を有しているもの
3. 単に知識、技能を獲得しているのみではなく、それらを統合的に活用でき、患者の社会的、心理的背景にも配慮することができるもの
4. 国際的視野を有し、地域での医療ができるもの



医学の新たな未来に向かってチャレンジ



和歌山県立医科大学 学長

中尾 直之

和歌山県立医科大学は1945年に開学し、長く医学部医学科の単科大学でしたが、2004年に2番目の保健看護学部を開設し、そして、2021年4月に3番目の学部として薬学部を開設しました。近畿の公立大学では初めての薬学部を擁する大学となり、名実ともに医療系総合大学として今年で4年目を迎え、今後も挑戦と成長を続け、医療の発展に寄与し、社会貢献を果たす使命と責任を担っています。そこで、本学は「地域を支え、世界に挑む：医療の未来を築く医療系総合大学」という基本指針を掲げ、医療人の育成と大学病院として高度先進医療を提供することにより地域社会に貢献しています。さらに、世界に挑戦すべく教育、研究、医療の最先端レベルの知見をこの和歌山から世界に発信し続けています。皆さんも私たちとともに医学・医療の新たな未来に向かってチャレンジしていただきたいと思います。

本学は、医学部、保健看護学部、薬学部の3学部の医療系総合大学の特色を活かして、3学部相互の多職種連携教育やケアマインド教育を通して、医療人として必要な倫理観をはじめケアマインドやコミュニケーション能力を育成します。その他の特徴として、3年次には約10週間の基礎・社会医学教室への研究配属の期間を設けています。この期間では、基礎医学教室に所属して、実際の実験手技や医学研究の進め方を学びます。また、医学部在学中に大学院博士課程の一部を履修できる大学院準備過程（MD.PhDコース）を設け、リサーチマインド旺盛な学生の期待に応えています。さらに、本学は海外の17大学と学術交流協定を結んでおり、在学中の留学も積極的に支援します。

このように、本学では総合的・専門的な基礎・臨床能力を高めるとともに医師として倫理観、人間性の涵養を図り、地域医療に貢献し、国際的にも活躍できる全人的医学教育を目指しています。

来たれ、若い力！

皆さんは、医学生となった自分の姿を思い浮かべながら、そして、この大学は良き医師になれるよう導いてくれるかを考えながらこのパンフレットを眺めているのかもしれませんが、さて、皆さんにとって良き医師像とは、どのようなものでしょうか？“自分自身や家族を安心して任せられる医師”が共通するイメージの1つではないでしょうか。それでは、安心して任せられる医師に必要な要素は何でしょうか？

近代アメリカ医学の開拓者として知られるウィリアム・オスラー博士は「良き医師は病気を治療し、最良の医師は病気を持つ患者を治療する」と述べました。病気を治療するためには最先端の知識・技術が不可欠です。さらに、それらを有効に活用するにはチーム医療が必要です。また、患者は、病気を患ったことからさまざまな不安・悩みを抱えています。したがって、患者を治療するためには、知識・技術に加え、「寄り添う心」と「思いやり」を持った豊かな人間性が必要です。

一方で、最良の医師であっても、救えない命や治らない疾患・症状が存在します。最先端の知識・技術の習得は、先人の築き上げた歴史を学ぶことであり、現時点で何がわかっているかを学ぶことです。救えない命や治らない疾患・症状を克服するためには、「何がわかっていないのか」を理解し、先人の築き上げた歴史に新たなページを加えていく必要があります。これは研究によって成し遂げられます。したがって、医師には科学的探究心が必要です。

和歌山は、医聖華岡青洲が、1804年に世界に先駆けて全身麻酔による乳がん手術に成功した地です。医学部では、青洲の医療理念「内外合一・活物窮理」を基本姿勢とし、「豊かな人間性と高邁な倫理観に富む人材、高度で専門・総合的な医学的能力を身につけた人材、コミュニケーション能力及びリーダーシップを備えた人材、地域医療及び国際的に活躍できる人材を育成すること」を教育目標として掲げています。高度な専門知識や技術を習得するための教育はもちろんのこと、チーム医療を実践する能力を身につけるために、医療系総合大学の特徴を活かし3学部合同講義・実習を行っています。これにより、チーム医療に重要な多様な視点から医療を理解する力、そして、コミュニケーション能力及びリーダーシップ能力を育成します。さらに、幅広い視点と国際感覚を身につけるために国際交流にも力を入れております。研究面では医学部教育の中にMD-PhDコースを設置するとともに、大学院では医療系総合大学の特徴を活かして医学薬学総合研究所を設置し、世界に貢献できる高度医療人・研究者の育成に取り組んでおります。

海と山に囲まれた自然豊かな和歌山で、皆さんが未来に思いを馳せ、勉学に励み、友人・師と出会い、高度な医療を実践する能力と豊かな人間性を涵養し、医療・医学の進歩に貢献できる最良の医師・研究者になることができるよう、医学部の教職員一同、全力で支援します。



和歌山県立医科大学 医学部長

川股 知之



和歌山県立医科大学医学部の特徴

医療系総合大学の強みを活かしたカリキュラム

医学部、薬学部、保健看護学部 3学部の共同講義を実施

高い国家試験合格率

医師国家試験合格率

95.3%

(新卒：過去10年間の結果)

☑ 自習室を完備

教員と学生の距離が近い教育

教員1人当たりの学生数

約**1.8名**

医学部定員600名に対して、
教員約330名
(令和6年4月現在)



国際交流制度 の充実

本学との国際交流の
協定先は17あり、
在学中の留学を
積極的に支援します。

VRを活用した医学教育

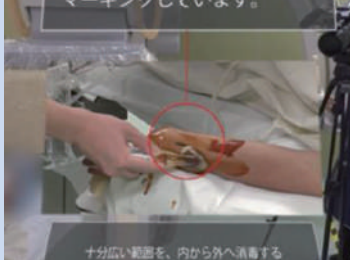
本学はデジタル医療教育用の仮想現実（VR）システムを導入し、令和5年4月から全国の医学部でも導入が進んでいないVRを使った新しい医学教育を開始しました。

医学生はVRを用いて心臓カテーテル検査や血管内治療をバーチャル体験するとともに、様々な疾患の3DモデルをVR空間内で自由に操作し各種疾患の理解を深めています。

現場体験型VR



あらかじめ焼骨動脈の走行を
マーキングしています。



十分広い範囲を、内から外へ消毒する

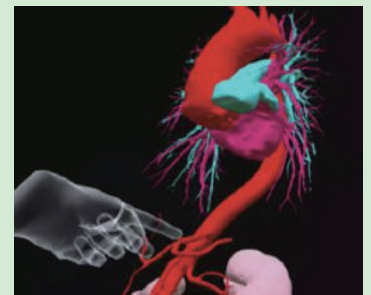
医療現場を擬似体験



VRゴーグルを
かぶって学習



3D-CT VR



解剖・疾患を3Dで理解



カリキュラム概要

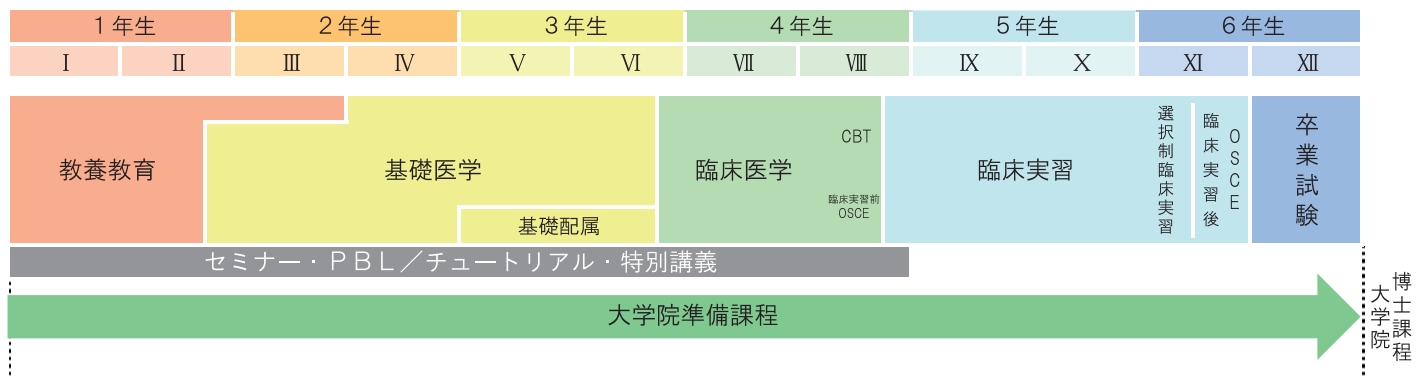
和歌山県立医科大学医学部は、知識に偏重した従来型の教育を脱却し、知識・技能・態度（倫理観）を総合的に育成できる教育を目指して成果基盤型教育を行っています。また、構造・機能、臓器別の横断的・総合的なカリキュラムを導入し、平成27年度には1～4年次にも患者に接する機会を増やすなど国際基準に適合し、臨床・研究能力の高い医師の育成が出来るようにカリキュラム改革を行いました。

改革の骨子は、1年次にはリベラルアーツ（教養教育）が中心となります。具体的には、医学部への準備教育や自然科学、社会人としての教養、医師としての倫理を学ぶ期間です。また、2年次、3年次には臨床の基礎となる基礎医学の領域を中心として学ぶとともに、基礎配属において研究に親しむ期間を設けております。3年次の後半から4年次には臨床医学の基礎的な内容を学び、共用試験に合格した学生は臨床実習生（医学）として臨床実習を開始します。臨床実習では期間を延長するとともに、より診療参加型実習を行います。臨床実習後 OSCE を行い臨床技能の評価を行います。

また、患者の方々の心の痛みにも目を向け、社会的な支援システムなども理解し、地域医療にも早期から慣れ親しむためのケアマインド、地域医療マインド育成にも力を入れており、1年次より早期臨床体験実習や地域福祉施設体験実習を行い、2年次には保育園実習・障害者福祉施設実習、さらに、臨床技能をシミュレーターを用いて磨き、より実践的な技能を身に付けられるよう臨床技能研修センターも併設しています。

平成25年度からは、大学院博士課程の一部を履修できる「大学院準備課程」を開始しました。これにより、医学部在学中に研究の基礎を学ぶことができるほか、大学院履修期間の短縮も可能となります。

これらの取り組みを通じて、本学では総合的・専門的な基礎・臨床能力を高めるとともに医師としての倫理観、人間性の涵養を図り、地域医療に貢献し、国際的にも活躍できる全人的医学教育を目指しています。



教養教育科目	基礎医学科目	臨床医学科目
<p>教養教育科目の授業は、1～2年前期にかけて行われます。人としての幅広い見識と、専門医学への準備としての基礎知識を身につけることを目的としています。</p> <p>また、入学後早い時期に医療の現場を体験する「Early Exposure 早期臨床体験実習」を実施し、医学及び医療に対する関心を高め、これからの医学を学ぶにあたっての問題意識を深めるカリキュラムがあります。</p>	<p>基礎医学科目の授業は1～3年にかけて行われます。「基礎医学」は医学の原点であり、臨床医学と表裏一体をなすものです。肉眼解剖から遺伝子レベルに至る人体の構造と機能を学び、さらに病気の病態、病因、薬物の作用、および社会と疾病の関わりについても学びます。</p> <p>また、各講座に少人数で配属され、自分の興味のあるテーマを選び、基礎医学の研究室で実際の研究に触れる機会（基礎配属）があります。</p>	<p>臨床医学科目は3年目後半から始まり、病気の診断、治療、予防について学びます。臨床実習は4年目後半～6年目前半にかけて、少人数に分かれて行われます。</p> <p>医療の現場を体験しながら、良き医師としての態度や知識・技術を身につける場であり、教科書からは得がたいものを自ら学びとります。講義には、臓器別に疾患をとらえた系統的講義と各科の特徴をふまえた講義があり、臨床医学を総合的に理解するための工夫が凝らされています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●数学 ●統計学 ●医学統計学 ●数理科学 ●物理学 ●化学 ●生物学 ●情報処理 ●英語・ドイツ語・フランス語・中国語 ●保健体育 ●ケアマインド教育 ●倫理学 ●法学 ●心理学 ●哲学 ●社会学 ●医療社会科学 ●医療行動科学 ●医療経済学 ●物理学実習 ●化学実習 ●生物学実習 ●心理学実習 ●早期臨床体験実習 ●教養セミナー ●医学入門 ●医学概論 ●データサイエンス ●キャリア形成 	<ul style="list-style-type: none"> ●生体分子の構造と機能 ●細胞の構造と機能 ●人体の正常構造と機能 ●基礎医学英語 ●特別講義 ●生体と微生物 ●病因と病態 ●人の死（法医学） ●免疫と生体防御 ●生体と薬物 ●生態と病害動物 ●遺伝子と遺伝子異常 ●医学英語 ●解剖学実習 ●生理学実習 ●生化学実習 ●薬理学実習 ●病理学実習 ●微生物学実習 ●基礎配属 ●研究倫理 ●地域実習 	<ul style="list-style-type: none"> ●血液系 ●代謝内分泌系 ●感染・腫瘍免疫系 ●循環器系 ●呼吸器系 ●消化器系 ●神経系 ●腎・泌尿器系 ●特殊感覚系（耳鼻咽喉科） ●特殊感覚系（眼科） ●皮膚科学 ●運動器系 ●精神医学系 ●生殖系 ●小児科学 ●麻酔科学 ●救急医学 ●臨床検査医学 ●画像医学 ●放射線治療 ●リハビリテーション ●歯科口腔外科学 ●緩和医療 ●病態栄養治療学 ●医療情報学 ●個人情報 ●医と法 ●医療安全 ●腫瘍内科学 ●形成外科学 ●リウマチ・膠原病系 ●衛生学・公衆衛生学 ●病理診断学 ●地域医療・地域保健Ⅱ ●総合診療 ●IT医療 ●がんゲノム ●臨床英語Ⅰ ●臨床英語Ⅱ ●特別講義（東洋医学） ●看護体験実習 ●臨床実習入門 ●臨床実習



令和7年度入学試験の概要(予定)

出願資格・入試日程・入試科目・出願方法等について、学生募集要項を必ずご確認ください。

選抜者区分		学校推薦型選抜	一般選抜 (前期日程)								
募集人員		一般枠 6名程度 (県内募集)	一般枠 64名程度 (学校推薦型選抜の「一般枠」の入学人数により若干名増減する。)								
		県民医療枠A 5名程度 県民医療枠B 3名以内 (全国募集) (注) 県民医療枠A、Bは優先順位を付け、併願することができます。	県民医療枠A 10名程度 (学校推薦型選抜の「県民医療枠A」の入学人数により若干名増減する。) 県民医療枠C 2名程度 (学校推薦型選抜の「県民医療枠B」で募集人員に満たない場合は、その不足分を募集人員に追加する。)								
		地域医療枠 10名 (県内募集)	(注) 県民医療枠Aと県民医療枠Cは優先順位を付け、併願することができます。								
主な出願資格		<ul style="list-style-type: none"> 高等学校を令和7年3月に卒業見込みの者が令和6年3月に卒業した者 調査書の全体の評定平均値4.3以上の者 (注) 推薦人員は高等学校1校につき(一般枠3名以内、県民医療枠A2名以内、県民医療枠B制限なし、地域医療枠3名以内)	高等学校を卒業した者及び高等学校を令和7年3月卒業見込みの者								
選抜方法	第一段階選抜 (大学入学共通テスト)	一定以上の学力水準を満たした者を選抜するため、大学入学共通テストの成績により、第一段階選抜を行います。	以下のとおり大学入学共通テストの総合得点かつ志願倍率により実施します。 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr> <th colspan="2">大学入学共通テストの総合得点</th> </tr> <tr> <td colspan="2">原則として630点以上※</td> </tr> <tr> <th colspan="2">志願倍率</th> </tr> <tr> <td colspan="2">約3.4倍(募集人員76名程度)</td> </tr> </table>	大学入学共通テストの総合得点		原則として630点以上※		志願倍率		約3.4倍(募集人員76名程度)	
	大学入学共通テストの総合得点										
原則として630点以上※											
志願倍率											
約3.4倍(募集人員76名程度)											
	第二段階選抜 (個別学力検査等)	「学校長による推薦書」 「調査書」 「自己推薦書」 「面接」	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>英語</td> <td>「英語コミュニケーションⅠ」「論理・表現Ⅰ」 「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現Ⅱ」 「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅲ」</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」 「数学A」「数学B(数列)」 「数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)」</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」から2科目選択</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「大学入学共通テスト」「面接」</td> </tr> </table>	英語	「英語コミュニケーションⅠ」「論理・表現Ⅰ」 「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現Ⅱ」 「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅲ」	数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」 「数学A」「数学B(数列)」 「数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)」	理科	「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」から2科目選択	「大学入学共通テスト」「面接」	
英語	「英語コミュニケーションⅠ」「論理・表現Ⅰ」 「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現Ⅱ」 「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅲ」										
数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」 「数学A」「数学B(数列)」 「数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)」										
理科	「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」から2科目選択										
「大学入学共通テスト」「面接」											

※一般選抜(前期日程)の第一段階選抜における大学入学共通テストの総合得点は、独立行政法人大学入試センターから公表される大学入学共通テストの平均点(中間発表)によっては、630点未満でも合格となる場合があります。その場合、合格に必要な新たな大学入学共通テストの総合得点を出願開始前までに大学ホームページで公表します。

※学校推薦型選抜は、第一段階選抜合格者の中から、学校長による推薦書、調査書、受験生が記述した自己推薦書及び面接により、総合的に評価し合格者を決定します。
 ※一般選抜は大学入学共通テストの成績、個別学力検査の成績及び面接の結果を総合的に評価して合格者を決定します。従って大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総計が合格者最低得点を上回っていても不合格となる場合があります。

入試結果

年度	区分	募集人数A	志願者数B	受験者数C	入学人数D	うち出身校		志願倍率 B/A	競争倍率 C/A
						県内	県外		
令和6年度	推薦	24名程度	77	26	25	20	5	3.2	1.1
	前期	76名程度	342	229	75	16	59	4.5	3.0
	合計	100名	419	255	100	36	64	4.2	2.6
令和5年度	推薦	24名程度	79	31	24	20	4	3.3	1.3
	前期	76名程度	194	157	76	15	61	2.6	2.1
	合計	100名	273	188	100	35	65	2.7	1.9
令和4年度	推薦	21名程度	65	24	19	17	2	3.1	1.1
	前期	79名程度	295	232	81	13	68	3.7	2.9
	合計	100名	360	256	100	30	70	3.6	2.6



県民医療枠について

目的

和歌山県内の公的病院において地域医療に携わるとともに、和歌山県医療の指導的・中心的な役割を担う人材を、大学入学時から15年間一貫した卒前卒後教育によって育成するために平成20年より設置しました。

また、和歌山県内で医師不足が深刻な産科医、小児科医、精神科医を育成するために令和5年度より卒業後の診療科を指定した県民医療枠Bと県民医療枠Cを新設しました。

どの募集枠も卒業後9年間のキャリア形成の一部について、和歌山県内で中核的役割を果たす公的医療機関等を中心に行うことを条件としています。

募集枠について

県民医療枠 A

- ・和歌山県内で従事する医師を育成する募集枠（診療科の指定なし）。
- ・学校推薦型選抜及び一般選抜で募集。

県民医療枠 B

- ・和歌山県内で「産科」に従事する医師を育成する募集枠。
- ・学校推薦型選抜で募集。

県民医療枠 C

- ・和歌山県内で「産科・小児科・精神科」のいずれかに従事する医師を育成する募集枠。
- ・初期臨床研修修了年次に3診療科の中から診療科を選択する。
- ・一般選抜で募集。

キャリア形成プログラム（コースイメージ）

県民医療枠 A の入学者

		9年								
		県内勤務期間								
本学医学部		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
医学生	1～6年生	本学での 初期臨床研修		専門研修	2年 地域派遣	専門研修		2年 地域派遣		
		●和歌山県内の専門研修プログラムに登録								

県民医療枠 B の入学者及び県民医療枠 C の入学者のうち「産科」を選択する者

		9年								
		県内勤務期間								
本学医学部		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
医学生	1～6年生	本学での 初期臨床研修		3年 地域派遣（産科）			本学等での専門研修 （産婦人科）		2年 地域派遣（産科）	
		●本学の専門研修プログラムに登録								

県民医療枠 C の入学者のうち「小児科」もしくは「精神科」を選択する者

		9年								
		県内勤務期間								
本学医学部		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
医学生	1～6年生	本学での 初期臨床研修		3年 地域派遣（小児科・精神科）			本学等での専門研修 （小児科・精神科）		2年 地域派遣 （小児科・精神科）	
		●本学の専門研修プログラムに登録								

※詳細は、和歌山県のホームページでご確認ください。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050100/career/careerkeiseiprogram.html>





地域医療枠について

目的

和歌山県内のへき地医療拠点病院及びへき地診療所等で勤務する医師を育成するために、和歌山県の医療政策の一環として平成20年に設置されました。

卒業後9年間のキャリア形成の一部について、へき地医療拠点病院等を中心に行うことを条件にしています。

募集枠について

和歌山県内のへき地医療拠点病院及びへき地診療所等で勤務する医師を育成する募集枠。

学校推薦型選抜で募集。

なお、和歌山県内の高等学校を卒業（卒業見込み）もしくは、和歌山県外の高等学校を卒業（卒業見込み）であって、出願時に扶養義務者（現に本人を扶養している者）が引き続き3年以上和歌山県内に居住している者が出願対象となります。

キャリア形成プログラム（コースイメージ）

		9年									
		県内勤務期間									
本学医学部		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	
医学生	1～6年生	本学での 初期臨床研修			3年 地域派遣			本学等での専門研修		2年 地域派遣	
		●本学の専門研修プログラムに登録									

※詳細は、和歌山県のホームページでご確認ください。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050100/career/careerkeiseiprogram.html>



和歌山県医師確保修学資金の貸与制度について

目的

和歌山県では県内の医師の確保及び充実を図るため、将来医師として勤務しようとする方に対し、修学資金制度を設けています。

募集枠ごとの勤務条件等を満たした場合、**貸与金の返還義務が免除**となります。

貸与対象者

県民医療枠B、県民医療枠C、地域医療枠の入学者

貸与金

1か月 自宅外から通学する者 15万円
自宅から通学する者 10万円

貸与期間

6年間（通常）

※詳細は、和歌山県のホームページでご確認ください。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050100/ishisyugaku/ishisyuugaku.html>





3年生 万谷 瑞姫

1Day Schedule

8:00 起床

9:30 授業

13:20 昼休憩

14:20 授業

17:00 部活

20:30 家事

22:30 勉強
自由時間

24:00 就寝



Campus Life

● キャンパスについて

1年生が通う三葛キャンパス、2年生から6年生が通う紀三井寺キャンパスはともに紀三井寺駅から徒歩10分圏内で、和歌山駅からのアクセスも良好です。図書館は医学書が豊富で自習スペースも広く、課題や試験前の勉強など集中したい時に利用しています。食堂は主菜だけでなく副菜も充実しており、1人暮らしの学生でも栄養バランスの良い昼食が食べられます。

● 授業について

1コマ70分で1日5コマが基本です。1年生は教養、2・3年生は基礎医学を学びますが、医師の方からの特別講義や体験実習など臨床に触れる機会もあり、勉強のモチベーションアップにつながっています。先生方は授業関係の質問はもちろん、学生生活に関する相談にも真摯に対応してくださり、先生とのコミュニケーションが気軽に取れるというのが魅力だと思います。

● 課外活動について

私が所属しているゴルフ部は週に1回練習とご飯に行きます。その他にも、友人と放課後に打ちっぱなしへ行ったり、土日に部員とラウンドに行ったり、部員全員共通の趣味のような感じで楽しく活動しています。1人でも練習できるため勉強の気分転換にもぴったりです。大会では遠征地にて選手も応援も大盛り上がりで、学生らしい貴重な経験だと感じています。

● 1人暮らしについて

通学時間が短くなり、その時間を勉強やアルバイト、趣味などに活用できることが最大のメリットです。始めは家事やお金のやりくりが不安でしたが、先輩や家族から学びを得て少しずつ自分で出来ることも増えてきました。自宅内に「ここにいる時は頑張る！」と思えるスペースを作ることで、勉強と休憩の切り替えができるよう心がけています。



5年生 高野 樹輝

1Day Schedule

- 6:30 起床
- 7:30 カンファレンス
- 9:00 手術見学
- 12:40 昼休憩
- 13:40 手術見学再開
- 15:30 セミナー
- 17:00 部活
- 23:30 就寝



Campus Life

● キャンパスについて

本学を志望する方の中には和歌山県にきたことがない人も多くいると思いますが、立地は悪くありません。和歌山県は実は好立地で、大阪まで特急を使えば1時間かからずに出ることができ紀三井寺駅も和歌山駅から7分で着きます。キャンパスも非常に綺麗ですし勉強にも遊びにも適した環境で自分にあったペースで勉強のできる最高の大学だと思います。

● 勉強について

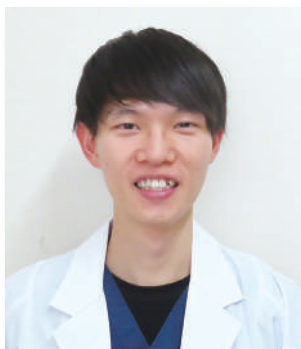
和医大では4年生から臨床医学を学んでいきます。内容は難しいですが面白く先生方の授業は分かりやすく興味を引くものばかりです。その中では先生方の体験談を聞く機会もあり、特に留学に関するお話は海外での生活がどんなものかの一端を知ることができます。留学に行きたいという気持ちがあれば3年生の基礎配属や5・6年生で海外臨床実習にも行くことができるため、非常にグローバルな大学だと思います。

● 実習について

5年生からは実際の病院に入る臨床実習が始まります。様々な科を4人一組で2週間ごとに回りながら実際の患者さんのお話を聞き身体診察をさせていただいたり、手術見学をしたりします。先生方はお忙しいにも関わらず学生に優しく接して下さり、意欲のある学生には安全な範囲で多くの手技を教えて下さるので学びのある実習ができます。

● 部活について

私は合気道部に所属しており、1年程前まで部長として約60人の部員とともに部活動に励んでいました。和医大には多くの部活動があり精力的に活動しています。部活動のなかで同期はもちろん、先輩や後輩との繋がりを増やしていくことは自身の糧になると思います。是非とも和医大に入学した際は部活動に入ってみてください。楽しいこと間違いなしです。



受験生の皆さんへ

研修医 2年目
瀨口 曜光



この度は和医大のパンフレットに目を向けていただきありがとうございます。和医大での学生生活と当院での初期研修について簡単にお話ししたいと思います。

私は大阪の高校から公募推薦で入学し、実家を離れて大学生活を始めました。入学後は野球部でのクラブ活動と、塾講師などのアルバイトもしながら、勉強に取り組み、友人との時間も大切に過ごしました。恐らく皆さんも想像されているとおり、勉強する内容や試験はたくさんありました。ですが、天才的な頭脳は必要なく、友人と相談し合いながらコツコツ勉強することで十分乗り越えられます。安心してください。もちろん勉強だけでなく、旅行をしたり、部活に打ち込んだりと充実した毎日でもとても楽しかったです。寧ろこれらが中心の学生生活だったかもしれませんね。

続いて、皆さんにとっては少し先のこととなりますが、附属病院での研修についてお話しします。当院の初期研修で1番の魅力は、3か月ごとに希望する診療科を選択できる点です。「循環器内科で心エコーを学びたい」、「麻酔科で手技を実践したい」など、それぞれのテーマを持って研修に臨むことができます。また、研修医の人数が毎年60人以上と多く、診療で迷うことがあればいつでも同期・先輩に相談できるのも嬉しいポイントです。病院全体として教育熱心な先生が多いので、大学生活に続き初期研修も非常に充実しています。

進路を決めるのは大変で難しいことですが、悩む過程で和医大のことを少しでも考えていただければ幸いです。皆さんと一緒に働けるのをとても楽しみにしています！



感染予防研修

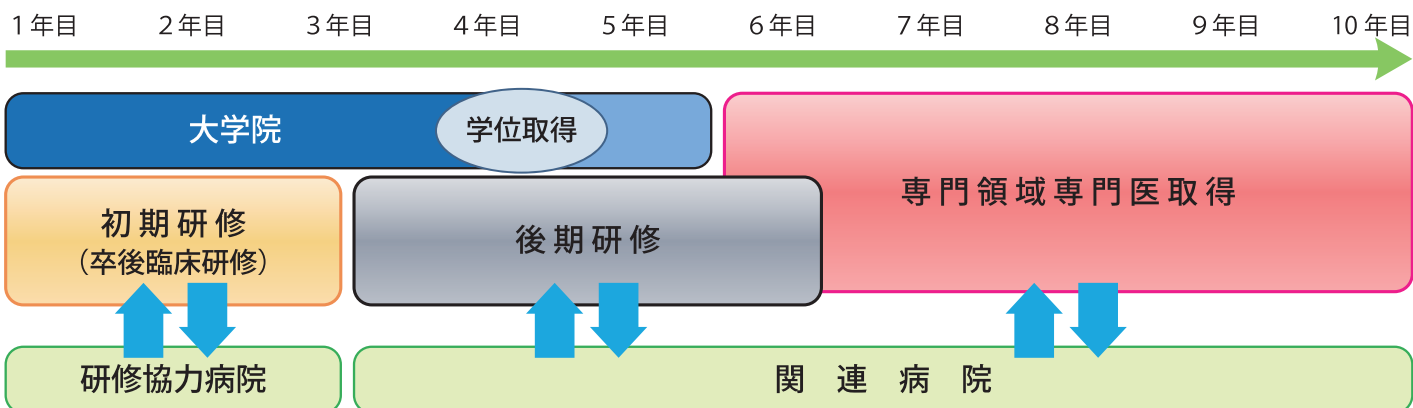


BLS（一次救命処置）研修



卒後臨床研修センター（高度医療人育成センター3階）

和歌山県立医科大学附属病院研修イメージ（一般入学卒の場合）※卒業年数等はイメージです





大学では現在26の体育会と19の文化会が活動をしています。

課外活動は、3学部合同で活動しており、大学全体での交流の場となっています。

体育会

- | | | |
|----------|-------------|----------|
| ●卓球部 | ●ソフトテニス部 | ●ゴルフ部 |
| ●バレーボール部 | ●フットサル部 | ●空手道部 |
| ●ヨット部 | ●準硬式野球部 | ●ラグビー部 |
| ●剣道部 | ●スキー・山岳部 | ●合気道部 |
| ●柔道部 | ●陸上競技部 | ●ボート部 |
| ●水泳部 | ●バスケットボール部 | ●ダンスサークル |
| ●バドミントン部 | ●サッカー部 | ●軟式野球部 |
| ●硬式テニス部 | ●女子バレーボール部 | ●競技かるた部 |
| ●フィットネス部 | ●ソフトテニスサークル | |

文化会

- | | | |
|------------------|------------------|----------|
| ●軽音楽部 | ●美術部 | ●裏千家茶道部 |
| ●音楽研究部 | ●E S S 部 | ●保健看護茶道部 |
| ●Wakayama Will 部 | ●アカペラ部 | ●演劇部 |
| ●華道部 | ●クイズ研究会 | ●釣魚部 |
| ●米国医学研究会 × USMLE | ●文芸部 | ●手話サークル |
| ●わくわく子育てボランティア | ●ミュージックボランティアクラブ | ●手芸サークル |
| ●薬学ボランティアサークル | | |



サッカー部



水泳部



合気道部



ゴルフ部



ソフトテニス部



卓球部



女子バレーボール部



陸上競技部



ボート部



フットサル部



空手道部



スキー・山岳部



剣道部



裏千家茶道部



手芸サークル



音楽研究部



軽音楽部



ダンスサークル



保健看護茶道部



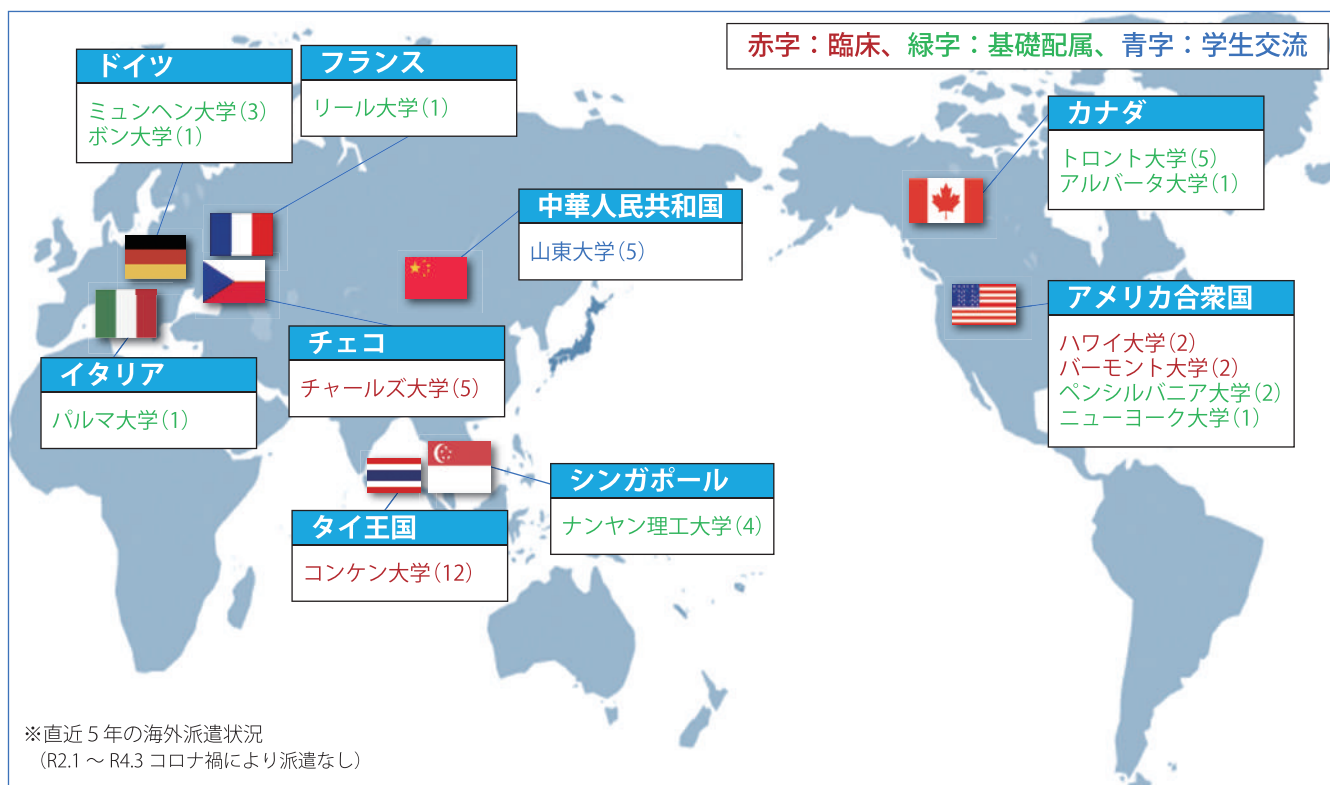
薬学ボランティアサークル



国際交流

本学では、教育及び研究の面で活発な国際交流が行われています。昭和61年度に本学と中国の山東大学と学術交流協定を締結し、平成17年度に医学部学生4名と保健看護学部5名の公式訪問が初めて実現しました。

また、平成18年度からは、国際交流センターを設置し、米国、中国、タイの大学との交流など、国際交流を推進しています。平成27年度までは、海外とは6か国8大学2政府機関1病院と交流協定を締結してきましたが、現在、さらに拡大し、8か国14大学2政府機関1病院交流協定を締結し、留学生の派遣・受入を行うとともに、教員により学術交流を行っています。平成25年3月にチェコ共和国のチャールズ大学との交流協定を締結したほか、平成26年5月にはミャンマー連邦共和国、平成27年2月にはベトナム社会主義国の医療関係者等との交流に向けて各国保健省と交流協定を締結しました。さらに、平成27年11月、平成28年3月に韓国の2大学、平成28年2月米国ハワイ大学、平成28年3月にミャンマー連邦共和国の2大学と1病院、平成29年と令和元年6月にはインドネシア共和国の2大学、令和5年2月にそれまで学部間協定で交流を続けていたタイ王国マヒドン大学と大学間協定を締結し、拡大させています。さらに、外国人研究者や外国人留学生を毎年積極的に受け入れるなど、本学の国際交流はますます活発に展開されています。



■学術交流協定締結先

国名	協定先			
中華人民共和国	山東大学	上海交通大学医学院	香港中文大学	
タイ王国	マヒドン大学	コンケン大学医学部	ブラバ大学	
ミャンマー連邦共和国	ミャンマー連邦共和国保健省医科学局	ヤンゴン第一医科大学	ヤンゴン看護大学	ヤンゴン総合病院
ベトナム	保健省 (関西公立医科大学・医学部連合として)			
大韓民国	延世大学	高麗大学		
インドネシア	ウダヤナ大学	アイルランガ大学		
チェコ	チャールズ大学第二医学部			
アメリカ合衆国	ハワイ大学			



4年生 脇田悦

LMU 法医学研究所での基礎配属体験談

私は基礎配属期間中の約1か月間、ドイツのバイエルン州にある Ludwig-Maximilians-Universität 法医学研究所にて基礎配属研修をさせていただきました。研究所で私が行ったことについて簡単に紹介できたらと思います。

研究所では毎日、解剖へ参加し、現地の臨床実習生も参加する中で様々な症例を見させていただきました。ヨーロッパ特有の大きな出来事として、難民が乗った車が警察に追われている最中に横転し、難民の死者7名が運ばれてきたこともありました。その他、銃による自殺や医療事故など1ヶ月で約80例の解剖に参加し、大変貴重な学びの機会となりました。解剖の他にも LMU の死生学の講義への参加や裁判の見学をさせていただきました。裁判の見学では、被告人・被害者・証人のいずれも時間になっても出廷せず、審理が先延ばしになるという日本では見られない光景がありました。その他、これらの研修の空いている時間では研究所の過去の生体鑑定書類、剖検書類を見ることができ、研究所で実施された法医剖検例を対象として、日本での基礎配属期間中に興味を持った多発性嚢胞腎について調査してまとめました。

基礎配属研修は学びの多い研修内容や現地での生活、法医学者や学生との交流を通じて、自分の未熟さを知り、視野を広げるとても良い機会となると思います。



LMU 法医学研究所の外観



ミュンヘン近くのダッハウ収容所



オーストリアの街並み



4年生 山下愛絵

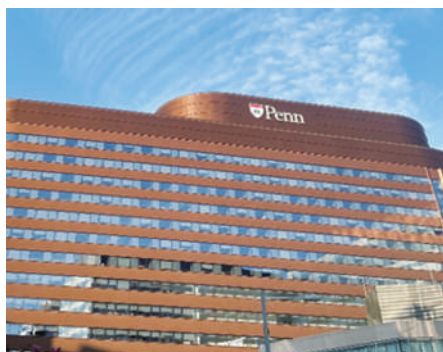
海外基礎配属で得られたもの

この度は和医大のパンフレットをご覧いただき、ありがとうございます。今回は3年生の海外基礎配属についてお話しします。

私は、基礎配属期間にアメリカのペンシルベニア大学で約3ヶ月、留学させていただきました。留学で得られたことは2つあります。

1つ目は英語学習へのモチベーションです。ラボには中国やインド、イランなど様々な国の人がいました。母語は全然違うのに、英語1つで話ができます。中高と英語を学び、大学でも医学用語を英語で覚えましたが、英語は私にとって試験科目の1つでしかありませんでした。しかし、英語が話せるとどんな国の人も話ができるとわかり、英語がコミュニケーションツールの1つだと実感し、これからも学び続けようと思いました。

2つ目は研究に対する刺激です。ラボでは1つのプロジェクトを担当させてもらい、毎日実験を繰り返しました。そして得られた結果をラボメンバーと話し合うことを通じて、研究するとはどういうことなのか、少しですが、具体的にイメージできました。また、ラボ以外でも研究者として働いている先生方から、お話を聞くこともできました。私は将来、研究に携わりたいと考えていたので、海外での研究を自分の目で見れ、研究をしたいという思いがさらに強くなりましたし、全世界にそれぞれの専門分野を極めている人たちがいることを肌で感じ、私も頑張らないと、と非常に強い刺激をもらえました。このように、和医大では、大きな刺激を得られる留学制度が充実しているということを知っていただき、和医大を目指すきっかけにさせていただけたらと思います。皆さんと一緒に学生生活を送れることを楽しみにしています！



University of Pennsylvania



フィラデルフィアの主要駅である 30th station



通学に使っていた電車



年間スケジュール

4	上旬	春期休業／入学式／新入生ガイダンス	
	中旬	新入生研修	
	下旬	学生健康診断	
5	上旬		
	中旬		
	下旬		
6	上旬		
	中旬		
	下旬		
7	上旬	西日本医科学生総合体育大会激励会	
	中旬		
	下旬	夏期休業(7月下旬～8月下旬) OSCE(6年)	
8	上旬	西日本医科学生総合体育大会(8月上旬～中旬)	
	中旬	オープンキャンパス	
	下旬		
9	上旬		
	中旬		
	下旬		
10	上旬		
	中旬	篤志解剖体慰霊祭, CBT(4年)	
	下旬	紀葉祭(大学祭)	
11	上旬		
	中旬	OSCE(4年)	
	下旬		
12	上旬		
	中旬	学校推薦型選抜願書受付	
	下旬	冬期休業(12月下旬～1月上旬)	
1	上旬		
	中旬	大学入学共通テスト	
	下旬	一般選抜(前期日程)願書受付	
2	上旬	白衣授与式	
	中旬	医師国家試験	
	下旬	開学記念日	
3	上旬		
	中旬	卒業式・学年末休業(3月中旬～下旬)	
	下旬		



入学金・授業料(令和6年度実績)

入学金	県内生	282,000円
	県外生	752,000円
授業料	年 額	535,800円

※在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

高等教育の修学支援新制度

住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯を対象に、学生生活に必要な生活費等をカバーする給付型奨学金と授業料等減免による支援を行う制度です。

世帯所得金額に基づく区分	給付奨学金支給月額		減免額(年額)	
	自宅通学者	自宅外通学者	入学金	授業料
7,800円 or 9,800円 or 19,500円 or 29,200円	16,700円 or 22,300円 or 44,500円 or 66,700円	70,500円 or 94,000円 or 188,000円 or 282,000円	134,000円 or 178,600円 or 357,200円 or 535,800円	

※「入学金」の減免は、入学月分から支援を受けられる学生が対象です。

奨学金制度

学業・人物とも優秀かつ健康で、経済的理由により修学が困難である学生に対して、日本学生支援機構、地方公共団体及び各種団体等による奨学金制度があります。

※日本学生支援機構貸与奨学金については、右の表のとおりです。

※本学独自の奨学金として、医学部6年生に対して、「修学奨学金」「修学奨励金」として月額5万又は10万円を1年間無利子で貸与する制度等があります。

※高等教育の修学支援新制度の給付奨学金と同時に第一種奨学金を受ける場合、貸与月額から減額又は増額されることがあります。

(令和6年度)

種 類	区 分	貸与月額
第一種奨学金(無利息)	自宅通学者	20,000円 or 30,000円 or 45,000円
	自宅外通学者	20,000円 or 30,000円 or 40,000円 or 51,000円
第二種奨学金(利息付)		2万から1万単位で上限12万円までの金額

学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険

学生が教育研究活動中、通学途中、課外活動中に不慮の事故により災害を被った場合の経済的負担の軽減や、正課、学校行事、及びその往復途中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を破損したことにより被る法律上の損害賠償を補償するため、全ての学生に対し、日本国際教育支援協会の「学生教育研究災害傷害保険(学研災)」及び「学研災付帯賠償責任保険(学研賠)」への加入を義務付けています。

(令和6年度)

種 類	保険料	保険期間
学研災	4,800円	6年間
学研賠	3,000円	6年間
計	7,800円	

入学手続きの際に加入していただきます。

アパート等

学生寮はありませんが、大学周辺に多くの学生向けの民間アパートやワンルームマンションがありますので、それらを利用してください。なお、民間アパート等のあつ旋については大学生協にお問い合わせください。

アルバイト

本学ではアルバイトの紹介は行っていません。なお、学生生活においてアルバイトは二義的なものであり学業に影響がないように心がけましょう。



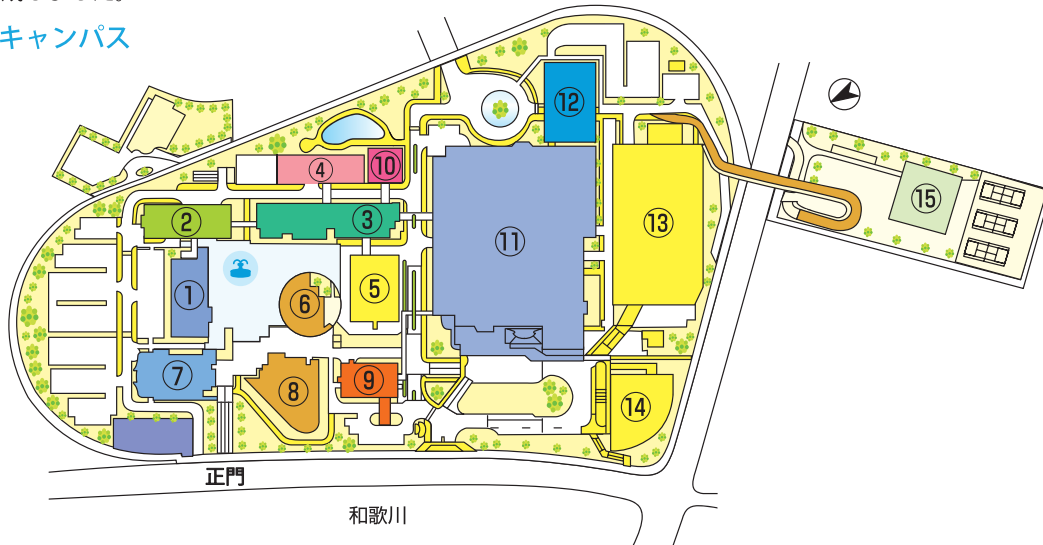
Campus Map (紀三井寺キャンパス)

本学の紀三井寺キャンパスは、「海・森・命」をデザインキーワードに北側の学部は和歌浦に浮かぶ「玉津島山」に見立てた9棟の建物群からなり、南側の病院棟では、波のイメージの曲線や森のイメージの緑色が使われています。東側には水路状の池と植栽を施し、それを廻る遊歩道を設け患者や一般の人々に憩いの場を提供しています。図書館の壁には「生命の潮流」が描かれており、研究棟の玄関には「紀国山海宝船」、3階から10階には海から森そして天へと巡回するアートワークが施されています。

また、平成25年度末には附属病院（東棟）が完成し、県民医療枠や地域医療枠の学生が卒業、医師として専門医や学位を取得できるよう、キャリア形成の支援をより充実して行えるようになりました。

さらに、令和2年9月には、医学部、保健看護学部、薬学部の3学部が共同で研究を行うことなどを目的とした次世代医療研究センターが完成しました。

○紀三井寺キャンパス



- | | | | |
|-------------|--------------|------------|--------------|
| ①基礎教育棟 | ②実習棟 | ③研究棟 | ④次世代医療研究センター |
| ⑤R I・動物実験施設 | ⑥福利厚生棟 | ⑦講堂 | ⑧図書館 |
| ⑨管理棟 | ⑩高度医療人育成センター | ⑪附属病院（中央棟） | ⑫附属病院（東棟） |
| ⑬立体駐車場 | ⑭エネルギーセンター | ⑮体育館 | |

Campus Map (三葛キャンパス)

J Rきのくに線紀三井寺駅から北へ約1 kmの位置に本学の三葛キャンパスがあります。周りを閑静な住宅街に囲まれたこのキャンパスでは、医学部1年生がリベラルアーツ（教養教育）を中心に学んでいます。

○三葛キャンパス



三葛キャンパス

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| ①管理・校舎棟 | ②研究棟 | ③図書館棟 |
| ④体育館棟 | ⑤医学部三葛教育棟 | ⑥グラウンド |



Campus Map (紀三井寺キャンパス)



正門



活物窮理の像



①基礎教育棟



⑥福利厚生棟・⑧図書館・噴水



⑩高度医療育成センター



③研究棟



④次世代医療研究センター



⑥食堂 (福利厚生棟内)



⑧図書館



⑮体育館



⑪スターバックスコーヒー (附属病院2階にあります。)



⑪ファミリーマート (附属病院1階にあります。)

AccessMap



令和7年 和歌山県立医科大学 医学部案内

和歌山県立医科大学 紀三井寺キャンパス・附属病院

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811番地1
Tel:073-447-2300(代表) Tel:073-441-0702(学生課)

和歌山県立医科大学 三葛キャンパス

〒641-0011 和歌山市三葛580番地

和歌山県立医科大学 伏虎キャンパス

〒640-8156 和歌山市七番丁25番1



ホームページ

<https://www.wakayama-med.ac.jp/>

